

7月16日付け 中建日報
(公社) 日本技術士会中国本部創立60周年記念式典

「専門知」から「総合知」発揮 中国本部が創立60周年記念式典

日本技術士会

式辞を述べる福田本部長



日本技術士会中国本部(福田直三本部長)は12日、前身となる中・四国支部設立より60年を迎えたことから『創立60周年記念式典』を広島市中区の広島市文化交流会館で盛大に開いた。杉中洋一中国地方整備局長や長坂康史広島工業大学学長らが来賓として駆けつけ、60年の輝かしい足跡を称



式典のもよう

えるとともに、今後のさらなる活躍機会の拡充に大きな期待を寄せた。記念式典には、WEB 中で、最近の主なトピッ

クスとして県支部の設置や災害復興支援士業団体への参画、2大学5高専との連携協力協定などを紹介しながら「われわれは21部門の『専門知』を有する組織。寄せ集めではなく、これらを融合させた『総合知』、さらには

政局長(代理・古賀徹局次長)、林揚哲中国経済産業局長(代理・高野史広地域経済部長)、杉中局長、長坂学長、黒崎靖介日本技術士会会長もそれぞれお祝いの言葉を述べ、60年の『重み』に敬意を表した。

このほか、記念式典では、中国5県の先陣を切って岡山県支部の立ち上げなどに尽力した中国本部の木口誠二参与に対して、福田本部長より感謝状が手渡された。

当日は記念式典に関連し、常田賢一大阪大学名誉教授による記念講演会や、余利野直人呉工業高専等専門学校校長による乾杯の音頭で祝賀会も開催。連携・交流にも重点を置いた中国本部の今後のさらなる活動の活性化を祈念した。